

公益社団法人日本技術士会水産部会

2024年度 活動報告・決算

2025年5月

公益社団法人日本技術士会水産部会

## 2024年度活動報告

### 1. 部会定例会の開催状況

定例会を奇数月に年6回、機械振興会館にてWeb併用により開催。常設委員会・実行委員会・理事会及び部会長報告を行うとともに、部会員活動の紹介及び要請等を行った。

5月11日（土）定例会、総会、講演会、技術士第一次・第二次試験合格者ガイダンス

7月13日（土）定例会、講演会

9月14日（土）定例会、講演会

11月 9日（土）定例会、講演会、研究発表会

1月11日（土）定例会、水産部会・生物工学部会合講演会

3月 8日（土）定例会、講演会

### 2. 講演会の開催状況

部会定例会に併せて6回の講演会（研究発表会基調講演を含む）をWeb配信併用で開催し、中国本部へもWeb配信を行った。9名の講師をお招きし、全参加者数は240名（昨年比35名減）であった。内訳は、会場参加者99名、Web個人参加者98名、中国本部参加者が43名で、今期は他部会との合同講演会がなかったことが、参加者減の要因となっている。中国本部へのWeb配信も毎回継続して実施し、地方からの参加者増に貢献した。

5月11日（土）「地理的表示（GI）保護制度について」

農林水産省 輸出・国際局 知的財産課 地理的表示審査官 久木田るみ子氏

7月13日（土）「水産白書について」

水産庁漁政部企画課 課長補佐 丸山泰史氏

9月14日（土）「内水面漁協の経営改善」

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 中村 智幸氏

1月11日（土）「下関漁港におけるデジタル化の推進」

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産大学校

海洋生産管理学科准教授 松本 浩文 氏

3月 8日（土）「水産流通適正化制度について」

水産庁加工流通課水産流通適正化推進室 課長補佐 長野 正嗣

「水産資源の増大、水域環境の保全について」

～地方公務員として技術士になるまで、そして技術士として～

二本柳技術士事務所 二本柳 茂 氏

- ※ 講演会開催に当たって各副部会長を中心に企画・進行を行った。
- ※ 講演会の開催案内は部会員に対しては同報メールで、さらに水産部会ＨＰに案内文書を掲載するとともにＦＡＸにて水産庁記者クラブ宛にお知らせを行った。
- ※ 講演を録画し Pe-CPD システム（ＣＰＤ講演内容のＨＰ視聴）で講演内容を掲載した。

### 3. 2024 年度研究発表会の開催

2024 年 11 月 9 日に研究発表会を下記のとおり開催し、研究発表は合計 2 題。インテムコンサルティング（株）取締役会長 土居正典をお招きし、基調講演を合わせて実施。参加者は 38 名（会場 17 名、Web 26 名）

開催場所：機械振興会館 会議室 6 D－4（東京都港区芝公園 3-5-8）

開催日時：2024 年 11 月 9 日（土）13：00～17：00

#### （1）基調講演 13:00～15:00

「開発途上国での技術指導と将来展望」

インテムコンサルティング（株）取締役会長 土居 正典  
 ……………（休憩）……………

#### （2）研究発表 15:10～17:00（2 課題で 1 時間と 30 分）

##### 1) 15:10～16:10「閉鎖性湖沼における放射性セシウムの動態解明」

久下水産技術士事務所 久下敏宏

##### 2) 16:10～16:40「技術者倫理の基礎教育で何を教えてきたか？」

上野技術士事務所 上野康弘

### 4. 技術士会における理事会・部会長・委員会

2021 年度より片山博視氏を理事に、各委員会には下記の委員で業務遂行し、定例会毎に委員会報告、理事会会議報告、部会長会議報告を行った。なお委員の任期は 2 年間なので今年度で任期満了となり、来期は新委員を水産部会として推薦することとなる。

2023・2024年度技術士会常設委員会及び実行委員会名簿

| 委 員 会 名     | 氏 名   |
|-------------|-------|
| 倫理委員会       | 上野 康弘 |
| 総務委員会       | 片山 博視 |
| 企画委員会       | 丹羽 真  |
| 研修委員会       | 田角 由香 |
| 広報委員会       | 村田 裕子 |
| 社会委員会       | 岩見 聡  |
| 国際委員会       | 桑原 伸司 |
| C P D支援委員会  | 市川 正和 |
| 修習技術者支援委員会  | —     |
| 青年技術士支援委員会  | —     |
| 技術士活性化委員会   | 清水 孝  |
| 防災支援委員会     | 小林 創  |
| 科学技術振興支援委員会 | 高柳 和史 |
| 日韓技術士交流委員会  | 安藤 亘  |
| 海外活動支援委員会   | —     |

2023・2024年度技術士会個別委員会等名簿

| 委 員 会 名     | 氏 名   |
|-------------|-------|
| 男女共同参画推進委員会 | 岡野 利之 |
| 技術士制度検討委員会  | —     |
| 技術士資格活用委員会  | 岡野 利之 |

2023・2024年度水産部会役員名簿

| 役 員 名 | 氏 名   |
|-------|-------|
| 部会長   | 上野 康弘 |
| 副部会長  | 岡野 利之 |
| 副部会長  | 村田 裕子 |
| 副部会長  | 丹羽 真  |
| 副部会長  | 清水 孝  |
| 幹事    | 片山 博視 |
| 幹事    | 市川 正和 |
| 幹事    | 久下 善生 |
| 幹事    | 桑原 伸司 |
| 幹事    | 高柳 和史 |
| 幹事    | 岩見 聡  |
| 幹事    | 田角 由香 |
| 幹事    | 岡崎 敏樹 |
| 幹事    | 林 英一  |
| 幹事    | 新井 義昭 |
| 幹事    | 安藤 亘  |
| 幹事    | 小林 創  |
| 幹事    | 松隈 裕之 |
| 幹事    | 二本柳 茂 |
| 監事    | 網田健次郎 |

5. 水産庁との意見交換会の開催について

今年度は、2024年12月9日（月）に開催し、水産部会のこの1年間の活動状況を説明し、水産白書の講師派遣を依頼し、技術士資格取得の奨励について意見交換をおこなった。

長野課長補佐から、「特定水産動植物等の国内流通の適正化等に関する法律」に基づき、水産関係技術士の活用が必要になっていくお話をいただいたことから、法律についての講演依頼についてもお願いした。

水産庁：大島課長補佐、長野課長補佐

担当者：片山博視（理事）、岡野利之（副部会長）

## 6. 大日本水産会「水産界」、月刊技術士での情報発信

2020 年 10 月からは大日本水産会「水産界」に技術士リレー執筆として技術士の活動状況を発信中 2024 年度は、6 月号「藻場と磯焼けとブルーカーボン」安藤亘氏、8 月号「陸奥湾におけるホタテガイ漁業の発展と課題」二本柳茂氏、3 月号「続・陸奥湾におけるホタテガイ漁業の発展と課題」二本柳茂氏が寄稿して、現在 17 編（2 回に分割もあり）掲載済みである。

2024 年度の月刊技術士は、2025 年 1 月、知られざる技術分野として、林英一幹事が「魚の加工残滓から可食部を取り出し歩留を向上させる設備について」を寄稿した。

担当者：（主）丹羽真（副部長）

## 7. 技術士第二次試験講習会の開催について

マリノフォーラム 21 が主催する講習会（開催日：2025 年 4 月 5 日）への参加者募集に対して協力した。

担当者：（主）井上清和（会員）

## 8. 水産分野における CPD の推進

講演会開催時毎に CPD 行事参加票を配布した。

## 9. 関係団体・学協会との連携

### 1) 大日本水産会との連携

#### ① ジャパン・インター・ナショナル・シーフードショー

8 月 21 日（水）～8 月 23 日（金）に一般社団法人大日本水産会が主催する第 26 回ジャパン・インター・ナショナル・シーフードショーにおいて水産部会のブースを設けて技術士無料相談ブースを開設した。相談員は延べ 17 名で、相談件数は 13 件であり、昨年より 6 件増加。来場者数は昨年より増加し 25,022 名（前回 23,394 名）、新型コロナ前の 3 万人までは回復しなかった。相談内容は、ノリ養殖、陸上養殖の立上げ、陸上養殖、水産加工品の AI による製品検査、アユ漁業の築設置、水産物コールドチェーンにおけるロス低下、ホタテ貝身入りと海流、など多岐にわたり相談を受け対応した。関連して日本技術士会水産部会主催のセミナーを 2 件開催し、11 月の定例会に報告書を提出した。諸経費、交通費は対外活動推進費（技術士会）から支給した。

担当者：（主）片山博視（理事）、（副）林英一（幹事）



図1 水産部会ブース

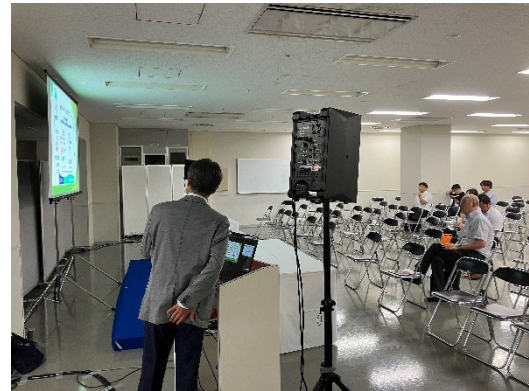


図2 部会主催の講演会

## 2) 国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産技術研究所との連携

水産利用関係研究開発推進会議及び研究会が11月19日（火）～20日（水）に国立研究開発法人水産研究・教育機構 横浜庁舎（水産資源研究所）管理棟3階（対面）で開催され、研究会（11月19・20）に事前登録した高柳和史（敬称略）、林英一、片山博視が参加するとともに、他機関からの登録で村田裕子、岡野利之、吉岡武也が参加した。21日の推進会議は対面に限られたため、不参加とした。

担当者：（主）片山博視（理事）、（副）村田裕子（副部会長）

## 3) 日本水産学会等の水産系学会

公益社団法人日本水産学会の水産教育推進委員会に委員として3名を登録。また「水産技術」誌監修委員会に上野部会長と片山理事の2名の委員を派遣した。

担当者：上野康弘、片山博視、市川正和

## 4) 財団法人 農学会（JABEE関連）

2024年度JABEEについては新しく2名審査員をお願いし、オブザーバー参加した。コロナの影響により、現地確認がどうしても必要な事項に関し一部の審査員は現地に出席したが、基本的にはWEBによるリモート審査を実施。

担当者：（主）市川正和（幹事）、（副）上野康弘（部会長）

## 10. 同報メールシステムの活用

引き続き水産部会定例会の開催案内、部会員の活動要請等を同報メールシステムで行った。

担当者：田角由香（幹事）、上野康弘（部会長）、不在時：丹羽真（副部会長）

### 1 1. 水産部会のホームページ

水産部会における定例会・講演会・祝賀会の開催案内、部会役員の紹介等を水産部会ホームページに掲載した。2017 年度から Pe-CPD システム（C P D 講演内容の H P 視聴）で講演内容を掲載した。

担当者：（主）岡野利之（副部会長）、（副）上野康弘（部会長）

### 1 2. 講師謝金等の支払について

講演会の講師謝金を 3 万円（会員外）及び交通費を支給するとともに、支払い方法は技術士会総務部から講師宛に銀行振込を行った。講演会等に係る費用は、水産部会補助金である年間 24 万円で対応した。

### 1 3. その他

#### 1) 日本技術士会々長表彰について

水産部会からは推薦なし。

#### 2) 2024 年度対外機関等との連携に対する対応者一覧

2 0 2 4 年度対外機関等との連携に対する対応者一覧表

| 対応機関等及び対応内容                          | 主任対応者                           | 副 任                    |
|--------------------------------------|---------------------------------|------------------------|
| 水産庁（水産庁との意見交換会）                      | （部会長）上野康弘                       | （理事）片山博視               |
| マリノフォーラム 21(技術士第 2 次試験講習会)           | （会員）井上 清和                       | —                      |
| 大日本水産会（シーフードショー）                     | （理事）片山博視                        | （幹事）林 英一               |
| 水産研究・教育機構水産技術研究所<br>（水産利用関係研究開発推進会議） | （理事）片山博視                        | （副部会長）村田裕子             |
| 日本水産学会（水産教育推進委員会）                    | （部会長）上野康弘、（理事）片山博視、<br>（幹事）市川正和 |                        |
| 農学会（JABEE 関連、技術者教育推進委員会）             | （幹事）市川正和                        | （部会長）上野康弘              |
| 月刊アクアネット「技術士通信」、大日本水産<br>会「水産界」編集委員会 | （部会長）上野康弘                       | （4 副部会長）               |
| 水産部会のホームページ                          | （副部会長）岡野利之                      | （部会長）上野康弘              |
| 水産部会 Web 配信担当                        | （幹事）田角由香                        | （部会長）上野康弘<br>（副部会長）丹羽真 |



会計報告

決算書

収入の部

| 適要           | 予算額       | 決算額       | 備考 |
|--------------|-----------|-----------|----|
| 繰越金          | 708,409   | 708,409   |    |
| 対外活動促進費      |           | 106,098   |    |
| 講演会参加費       | 180,000   | 184,000   |    |
| 5月会場参加       |           | 14,000    |    |
| 7月会場参加       |           | 14,000    |    |
| 9月会場参加       |           | 14,000    |    |
| 11月会場参加      |           | 17,000    |    |
| 1月会場参加       |           | 17,000    |    |
| 3月会場参加       |           | 14,000    |    |
| 5～9月 Web 参加  |           | 41,000    |    |
| 10～3月 Web 参加 |           | 52,000    |    |
| 個人で Web 参加   |           | 1,000     |    |
| 懇親会参加費       | 120,000   | 58,000    |    |
| 5月懇親会        |           | 26,000    |    |
| 11月懇親会       |           | 17,000    |    |
| 1月懇親会        |           | 15,000    |    |
| 雑収入          |           | 120,000   |    |
| WEB 配信奨励金    | 120,000   | 120,000   |    |
|              | 1,128,409 | 1,176,507 |    |

支出の部

| 適要                | 予算額       | 決算額       | 備考                           |
|-------------------|-----------|-----------|------------------------------|
| 3月決算残分            | 11,896    | 11,896    |                              |
| 懇親会費等             | 300,000   | 220,084   |                              |
| 5月懇親会費            |           | 70,000    |                              |
| 11月懇親会費           |           | 83,600    |                              |
| 1月懇親会費            |           | 55,484    |                              |
| 3月懇親会補            |           | 11,000    |                              |
| 定例会役員交通費          | 140,000   | 233,960   | 講演会:149,900 円 シーフード:84,060 円 |
| 会計監査              | 15,000    | 17,160    |                              |
| 手数料               | 10,000    | 3,795     | インターネットバンキング                 |
| 雑費（白書送付代金）        | 0         | 5,550     | レターパックライト 15 部×370 円         |
| 雑費（シーフードショーで資材貸与） | 30,000    | 18,150    |                              |
| 予備費（繰越金）          | 621,513   | 665,912   |                              |
| 合計                | 1,128,409 | 1,176,507 |                              |

（参考）3月予算残分

| 月 | 日  | 費目                     | 出金      | 入金     | 差額       |
|---|----|------------------------|---------|--------|----------|
| 4 | 11 | WEB 選択分講演会参加費（9～1月）    |         | 69,000 |          |
| 4 | 30 | 補助費限度超過額返納費            | 31,566  |        |          |
| 4 | 30 | 振込手数料                  | 330     |        |          |
| 4 | 30 | 3月講演会会場参加費（15×1,000 円） |         | 15,000 |          |
| 4 | 30 | 3月懇親会参加費（11×1,000 円）   |         | 11,000 |          |
| 4 | 30 | 3月懇親会（うすい）飲食代          | 75,000  |        |          |
|   |    |                        | 106,896 | 95,000 | - 11,896 |

公益社団法人日本技術士会水産部会  
監査報告書

監査の期日及び場所

期 日 令和 7 年 4 月 1 日 (火 )

場 所 網田技術士事務所

監査対象となる期日及び書類

期 日 自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 3 1 日

書 類 関係書類 (通帳、領収書等)

監査の結果

令和 7 年 3 月 3 1 日現在における収支並びに残高は、関係書類と照合し、  
正当と認めます。

上記の通り報告します。

令和 7 年 4 月 1 日

公益社団法人日本技術士会水産部会

会計監事

網田健次郎 